



私大協発第17370号
令和6年7月31日

各大学 理事長 殿
大学教務部（課）長

日本私立大学協会

会長 小原 芳明
大学教務研究委員会
担当理事 後藤 泰之
委員長 安井 利一

令和6年度（通算第61回）「大学教務部課長相当者研修会」の開催について

盛夏の候、貴大学益々ご隆昌の趣、慶賀の至りに存じます。

本協会は、大学教育・学術研究に果たす大学教務の役割の重要性に鑑み、昭和38年度以来、「大学教務研究委員会」を常設して、大学教務の在り方をはじめ、学士課程教育の充実と大学設置基準等の改正、大学院の充実と学術研究体制の整備、入学者選抜方法の改善、開放制教員養成制度の堅持と充実等の諸問題について研究するほか、加盟各大学の教務部（課）長相当者の資質向上に資するため、毎年「大学教務部課長相当者研修会」を開催してまいりました。

本年度の当研修会につきましては、本協会の令和6年度事業計画に基づき、大学教務研究委員会において諸準備を進めてまいりました結果、同封の「開催要項」「日程（予定）」のとおり、来る10月16日（水）から17日（木）までの2日間にわたり、浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室において開催することになりましたのでご案内申し上げます。

今回は、メインテーマを「学修者本位の学びを牽引する私立大学～DXと大学教育～」と定め、学修者本位の大学教育の実現に向けたAIの利活用を含むDX対応のほか、学修成果の可視化や内部質保証等の大学教育改革について、講演・班別研修等による総合研修を行うことといたしました。

つきましては、これらの研修課題の重要性をご斟酌賜り、尊台をはじめ貴学の教務部（課）長相当のほか、教務委員長等の教員の方々にも多数ご参加いただけますようお願いを賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、貴大学からの参加申し込みにつきましては、研修会参加費のお振込み終了後、**本協会ホームページ（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）の「加盟大学専用サイト」**より、**来る8月30日（金）**までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

令和6年度（通算第61回）「大学教務部課長相当者研修会」開催要項

主催 一般財団法人 私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

1. 開催趣旨

大学の教育・学術研究の充実に関する共通の基本問題について、教務部（課）長および相当者による共同研修を行い、大学教務業務の改善を図るとともに、教務部（課）長および相当者の資質向上につとめ、もって大学教育および学術研究の充実発展に寄与することを目的といたします。

2. 参加者

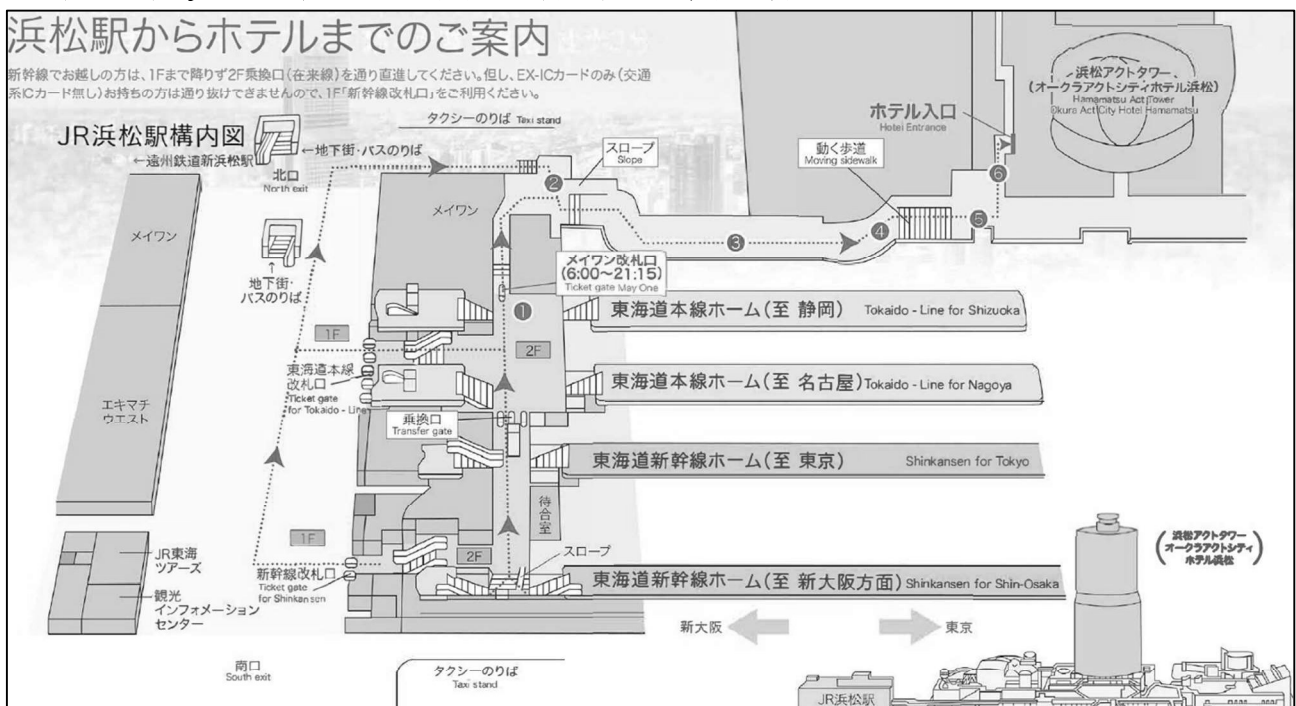
- (1) 資格 ① 各大学の教務部（課）長および教務委員長、またはその相当者
② 理事長・理事・学長・事務局長
- (2) 参加者数 1大学3名以内とします（厳守）。ただし、当研修会準備運営委員は含みません。
- (3) 今回の研修会は、「学修者本位の教育を牽引する私立大学～DXと大学教育～」がメインテーマとなりますので、教員の方々にも多数ご参加いただけますようご高配のほどお願い申し上げます。

3. 開催日時

自 令和6年10月16日（水）12時30分開会（受付開始12時00分）
至 令和6年10月17日（木）15時00分閉会

4. 研修会場

- (会場) 浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室 受付：4階「平安」
(所在地) 浜松市中央区板屋町111-2（〒430-7733）
(電話) 053-459-0111（代表） (URL) <https://www.act-okura.co.jp/>
(交通) JR浜松駅メイワン改札口（東口）より徒歩3分



5. 研修日程・研修課題について

「日程（予定）」（p. 5）をご参照ください。

6. 班別研修について

- (1) 班別研修は、①総合系、②人文・家政系、③社会・福祉系、④理工系、⑤芸術系、⑥医療・看護系、⑦医・歯・獣医・薬系の学問分野別の班編成とさせていただきます。
- (2) 留意事項
 - 諸準備の関係から、参加申込締切後の班の変更には応じられませんので、予めご了承ください。
 - 班別研修における協議課題として、「日程（予定）」に記載の2つの課題を設けておりますので、参加申し込みの際にアンケートへのご回答をお願い申し上げます。
 - お申し込みの際にご入力いただくメールアドレスについては、班別研修の所属班の中において、共有させていただきます。班別研修の実施に関して、後日、運営委員より連絡させていただきます場合がございますので、大学ドメインのアドレスをご入力ください。
 - 班別研修の学問分野については、希望人数の関係で同系列の班を複数、または合同とする場合があります。

7. 研修会参加費について

(1) 研修会参加費について

参加者1人当たりの「研修会参加費」は、次の通りとなりますので、下記の銀行口座宛にお振込みください。

(内訳)	①研修会参加会費	13,000円
	②情報交換会費（10月16日）	9,000円
	合計（研修会参加費）	<u>22,000円</u>

(注) ①情報交換会に参加されない方は、合計金額から情報交換会費を差し引いた金額（13,000円）をお振込みください。

②その他諸経費（旅費、宿泊費、食事代など）は、各自でご負担ください。

(振込先)

①銀行口座：三菱UFJ銀行「神田支店」 普通預金 No. 1186469
②名義人：イッパソダインホジソガケンシュウカカイ (シダケヨウカイチ)
一般財団法人私学研修福祉会（私大協会口）

(お願い)

- ①研修会参加のお申し込みは、研修会参加費のお振込み終了後にお願い申し上げます。
- ②研修会参加費納入の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。
- ③振込手数料については、各大学にてご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ④「領収書」については、お振込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。

⑤万一、研修会参加費納入後にご欠席の場合は、研修会開始7日前（10月9日（水））までに本協会事務局宛に電話等にてご連絡いただければ、研修会参加費（振込額）の全額を返金いたします。10月10日（木）以降に欠席のお申し出があった場合には、研修会参加費（振込額）を返金できませんので、あらかじめご了承ください。

（2）宿泊について

研修会期間中の宿泊については、各自でご手配ください。

（3）食事代について

情報交換会会食（10月16日）及び、昼食（10月17日）を除き（この費用は「研修会参加費」の一部としてご納入いただきます）、すべて各自でご自由にお済ませください。

8. 研修会の申し込み方法について

（1）研修会参加費のお振込み終了後、本協会ホームページ（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）より「加盟大学専用サイト」にログインのうえ、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、加盟大学専用サイトへのログインID・パスワードは令和6年3月に変更いたしました。

（注）詳細は各大学からご登録いただきました情報管理担当者にお問い合わせください。

（2）締切期日 令和6年8月30日（金）まで（厳守）

（3）留意事項

①お申し込み後、自動返信の「申込受付」メールが送信されます。数日経過しても届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※自動返信の「申込受付」メールについては、迷惑メールとして認識される可能性もありますので、メールが届かない場合はご面倒をおかけいたしますが、迷惑メールフォルダ等もご確認ください。

②お申し込み事項のご入力の際は、研修会参加費の「振込日」「振込金額」「振込名義人」を必ずご入力くださいますようお願い申し上げます。

9. 研修会の報告書作成について

本研修会においては、研修成果をさらに広めるため、研修会終了後、研修会報告書を作成して、本協会ホームページの「加盟大学専用サイト」に掲載いたしますので、ご活用ください。

10. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供はいたしません。

本協会は、当該研修会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の当研修会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

～注意事項～

- 全体研修・班別研修中の録音・録画・撮影は、原則禁止とさせていただきます。
- 研修会場内の空調管理はおこないますが、各自、衣類等で調整できるようご準備ください。

【問い合わせ先】

日本私立大学協会「大学教務部課長相当者研修会」係（担当）吉川智江
（TEL）03—3261—7049 （E-mail）kyoumu@shidaikyo.or.jp

*（問い合わせ時間） 月曜日～金曜日 9時～17時

令和6年度「大学教務部課長相当者研修会」日程（予定）

主催 一般財団法人私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

メインテーマ：学修者本位の教育を牽引する私立大学 ～DXと大学教育～

【日 程】令和6年10月16日（水）～17日（木）—1泊2日—
【会 場】浜松市「オークラアクトシティホテル浜松」会議室
【住 所】静岡県浜松市中央区板屋町111-2 (TEL) 053-459-0111

【1日目】 10月16日（水）

12:00 ～ 12:30	◎ 受 付
12:30 ～ 12:50	I. 開 会：日本私立大学協会常務理事・事務局長 小出秀文 日本私立大学協会副会長 II. 挨拶：大学教務研究委員会担当理事 後藤泰之 愛知工業大学理事長・学長 III. オリエンテーション：事務局
12:50 ～ 13:05	IV. 研修・協議 1. 研修趣旨 [15分] 大学教務研究委員会委員長 安井利一 解説者：明海大学理事・名誉教授 ⇒本年度研修会のメインテーマの設定の趣旨と、当委員会の研究活動を含めた本研修会の狙いについて解説する。
13:05 ～ 13:55	2. 今後の大学教育を展望する～教育改革の取り組みから～（仮題） [50分] 講師：桐蔭横浜大学学長 森 朋子氏 ⇒少子化やデジタル技術の発展等に伴い、大学教育は新局面を迎えている。文理融合教育や学部連携・大学連携等の教育改革のほか、学修成果の可視化や内部質保証等の質保証の取組を踏まえつつ、学修者本位の教育を実践する私立大学における今後の教育の在り方について考える。
	休憩（15分）
14:10 ～ 15:00	3. ChatGPTの教育現場での活用について（仮題） [50分] 講師：東京都市大学情報工学部知能情報工学科主任教授 神野健哉氏 ⇒生成AI等のデジタル技術の進展を踏まえて、DX人材の養成や教育のDX化等が課題となっている。AIの大学教育への活用取組みから、学修者本位の教育の実現に向けた、大学教育のデジタルトランスフォーメーションについて考える。
	休憩・会場移動（30分）

15:30 ～ 17:30	<p>4. 班別研修 (1) [120分] ⇒学問分野の班編成により、メインテーマに関わる共通協議課題のほか、各大学における教育と研究、大学教務に関連する重要課題等について協議・情報交換を行う (1班約30～40名)。</p> <p>[班編成] ①総合系 ②人文・家政系 ③社会・福祉系 ④理工系 ⑤芸術系 ⑥医療・看護系 ⑦医・歯・獣医・薬系</p> <p>[協議課題] ①各班共通の協議課題について協議を行うとともに、②4つの希望別協議課題から、参加者アンケートで希望の多いテーマを中心に協議を行う。</p> <p><各班共通協議課題> DXと大学教育 (例) AIの利活用、遠隔授業への対応、情報リテラシー教育など</p> <p><希望別協議課題> ①教育課程の編成 (例) 学士力の育成、理工系人材の養成、文理横断教育など ②教育方法の工夫 (例) アクティブ・ラーニング、学修成果の可視化、厳格な成績評価など ③教学マネジメント (例) 内部質保証体制の整備、基幹教員の活用、FD・SDなど ④その他 (例) 教職協働、リスクリテラシー教育、障害学生に対する合理的配慮など</p>
	休憩・会場移動 (30分)
18:00 ～ 19:30	◎ 情報交換会 (立食形式) [90分]

【2日目】 10月17日 (木)

09:00 ～ 12:00	<p>4. 班別研修 (2) [180分] ⇒前日に引き続き、共通協議課題をはじめとする協議・情報交換を行う (昨日と同会場)。</p> <p>— 途中適宜休憩 —</p>
	昼食休憩・会場移動 (60分)
13:00 ～ 13:35	<p>5. 私立大学を取り巻く現状と課題 (仮題) [35分] 解説者: 日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出 秀文</p> <p>⇒令和7年度私学関係政府予算、税制改正要望のほか、地方私立大学の振興や私大のガバナンス改革への対応をはじめとする私立大学を取り巻く諸情勢について解説する。</p>
	休憩 (15分)
13:50 ～ 14:50	<p>6. 高等教育政策の諸動向 (仮題) [60分] 講師: 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課長 吉田 光成氏</p> <p>⇒中央教育審議会における急速な少子化を踏まえた「今後の高等教育の在り方」の審議動向のほか、高等教育の無償化、障害のある学生に対する合理的配慮の義務化など最新の高等教育政策について概観する。</p>
14:50 ～ 15:00	V. 閉会の挨拶

以上